

## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム

The 2nd Japan-China-Korea Mid-Autumn Full Moon Online Symposium

永松 敦・潘艶賢・佐野愛子・李信恵・宮崎公立大学民俗学演習

昨年に引き続き、今年も、日中韓 十五夜オンラインシンポジウムを開催することができた。国内外の研究者や一般の方々の協力によるものである。昨年度からのコロナ禍において、大学教育の意義が厳しく問われる状況のなかで、十五夜行事という共通の文化を有する東アジア各国をオンラインで結び、研究者、ならびに、一般の生活者の方々も含めて、相互に文化理解を深めるために、昨年度に引き続き開催した。中国では中秋節、韓国では秋夕（추석）、日本国内ではお月見・十五夜の愛称で親しまれている。国内での在日コリアンの方々から秋夕の行事を詳細にご報告いただいた。また、民俗学演習の3年生全員の参加と執筆がなされた。上記の執筆者のほかに、今回のシンポジウムで国内外の多くの協力者にご参加いただいた。末尾に氏名を明記しておく。

キーワード：十五夜 多文化共生 中秋節 秋夕

### 目 次

- I 東アジア十五夜研究の意義
- II 第2回 十五夜シンポジウムの特色
- III 各報告原稿

---

#### I 東アジア十五夜研究の意義

2020年3月頃から日本全土がコロナ禍に見舞われた。こうした異常事態に晒されると、各現場ではかなりの混乱が生じた。こうした状況下で、フィールド調査が困難になった状況で、私の所属する宮崎公立大学民俗学研究室では2020年10月に学生を主体とした日中韓十五夜オンラインシンポジウムを開催した。

これはあくまでも学生主体の交流によるもので、学術的な内容は求めていなかったが、昨年度、第1回を開催したところ、東アジア各国の貴重な伝承や現在行われている祭礼や儀礼を、PC画面を通して知るがことができた。この会に、国内外の参加者が集まり、特に、研究者の参加が多

く関心を集めた。この小さな学生間の研究会が、翌年、日本民俗学会でさらに発展を遂げることになる。第914回談話会では「民俗学における多文化共生 ―東アジアの十五夜行事から考える―」（2021年7月24日）がオンラインで開催され、中国、韓国、台湾の研究者のほか、国内ではアイヌ民族から沖縄の民俗研究者が集うシンポジウムが開催された。

ここで問題となったのは、多文化共生について十五夜をどのように捉えるかであった。特に、アイヌ民族の場合は旧暦8月15日に月を祝う行事がなく、むしろ、月を忌む信仰の方が強いとされる。直接、月の姿を見るのを忌むという風習については、平安期の『竹取物語』に記される通りの信仰なのであるが、十五夜の月を祝わない文化も国内に存在することに留意しなければならない。

また、国内の在日外国人の方々の信仰や儀礼も重要である。「日本では、中秋の日に、お月様にススキとお団子を供えるのが常識だ」という理論がまかり通ると、多様な文化を有する国内の人々の感情を害する危険性を伴うことにも注意しなければならない。

我々は日本文化とは？という問い掛けをよくしている。そのときに、同じ日本という国土において生活を共にしているアイヌ民族や在日外国人の方々の文化をどこまで真剣に接して研究、報

告をしているのだろうか？そういう自問自答をしている最中に、民放のある番組において悲しいことにアイヌ民族を侮蔑する事件が起こった……。私はこの事件の責任の一端は私自身にもあるのではないか、と思えてならない。それは、日本民俗学を教えていて、これまで、アイヌ民族や在日外国人の方々と同じ習俗を有さない人々への配慮がどれほどあったのだろうか・・・と。

昨年度から協力をいただいている大阪の在日コリアンの李信恵氏、そして、大学近辺で飲食業を営む押川敬姫氏には今年から参加していただいた。そして、押川氏のご自宅での秋夕（チュソク）の先祖祭を見学させていただく機会に恵まれた。さらに、国内での在日外国人の方々と輪を広げていきたと考えている。

シンポジウムのパネリストとしては、韓国安東市の金俊漢氏、中国、広西学院大学の潘艶賢氏、台湾、東呉大学の頼雲荘氏、進和外語アカデミーの佐野愛子氏にご登場いただき、

令和3年度宮崎公立大学学術研究推進助成事業

# 十五夜

主催  
宮崎公立大学民俗学研究室

## 第2回日中韓オンライン・シンポジウム

2021年9月18日(土)  
13時30分～17時30分 学生・一般市民向け講座

ZOOM

### プログラム

13時30分～14時30分  
日中韓の十五夜行事  
宮崎公立大学民俗学ゼミ生

14時～15時40分  
シンポジウム 東アジアの中秋節  
(10分休憩) 15時40分～16時40分 各地の十五夜行事

17時00分～17時30分  
参加メンバーによる討論会  
参加お申込み  
kojiki1300miyazaki@yahoo.co.jp

9月17日までに下記にメールでお申し込みください。振り直し、ZOOMのID、パスワードをメールにてお知らせします。  
宮崎公立大学民俗学研究室 お問い合わせ  
080-6406-5493

～ゲスト～  
項 青(熊本県立大学)  
秦 瑛(広西大学外国語学院)  
潘 詔 賢(広西民族大学)  
頼 雲 荘(台湾 東呉大学)  
김 준안 金 俊漢  
(元韓国EBS制作局長)  
이 신혜 李 信恵  
(フリーライター・在日朝鮮人2・5世)  
・김 경숙 金 敬淑  
(熊本大学)  
・押川 敬姫(オモニのまんま亭)  
・堀尾 里美(孫鐘熙 人吉旅館)  
・佐野 愛子(進和外語)

～宮崎公立大学民俗学ゼミ～  
日本班  
・加藤竜矢・野田真衣佳  
・三原美咲  
中国班  
・小倉香鈴・長田海翔  
・王安琪・王翔宇  
韓国班  
・岩見璃子・濱田真由  
・櫻田真由美



## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

中国語通訳に、熊本県立大学の項青氏、韓国語通訳に人吉旅館の堀尾里美氏にお願いした。

最後に、民俗学演習3年生の学生たちによる報告を掲載する。

次年度、この研究会は韓国安東市君子村から秋夕の模様を配信し、第3回目の十五夜シンポジウムを開催する予定である。2022年9月10日が十五夜となる。韓国では厳粛な先祖祭が修される。宮崎市下北方町では、平家方の武将、平景清の命日にあたる。南九州から沖縄地方にかけては、十五夜の日が韓国と同様に先祖祭と結びつく事例が多い。また、十五夜の綱引きの行事も共通している。十五夜と先祖祭。韓国と宮崎とをオンラインで結び、シンポジウムを実施する予定である。宮崎の文化の新たな一面が見えてくるであろう。

## II 第2回 十五夜シンポジウムの特色

昨年度の第1回、十五夜シンポジウムに続いて、今回も中国、台湾から東南アジア、朝鮮半島へと広範囲に十五夜の行事を紹介していただいた。

中秋節は日本のようにススキを供える習慣はどこも見られないという報告を受けた。しかし、月とススキは意識されているのではないか？ということが各国のポスターから見受けられる。

下記の2点の資料をご覧ください。



（項青氏 提供）



（潘艶賢氏 提供）

左の「中秋 国慶」のポスターでは、月に兎が描かれており、左のベトナムの華僑の方々の中秋節の飾り物では、月餅とともにススキが供えられていることが認められる。それぞれ発表者に確認をしても、「特に中国や東南アジアの華僑の人々の間では日本のようにススキを供える習慣はない」という答えが返ってくる。しかし、この 2 種は明らかにススキを意識して供えられていると見てよいのではなからうか？

中国の粽を、ちまき（茅卷）と訓読みしたのは日本人である。端午の節句で疫病除けにチマキを食べる、あるいは京都の祇園祭りのように、疫病除けとしてチマキをばら撒くのは茅が悪霊除けとされているからである。ススキは茅の一種であるから、ススキという植物を茅として捉えなおした場合に、悪霊除けの性格も併せ持つことにも留意しなければならない。中国での茅の用例については、中国哲学者、大形徹氏の「＜研究ノート＞＜茅＞について その呪術的効用をめぐる」に詳しく述べられている（『日本研究』(18), 151-175, 1998-09 国際日本文化研究センター）。端午の節句のチマキは、餅として食べる文化とともに、屋根に菖蒲や蓬とともに茅を突き刺すことが中国でも見受けられる。

茅の信仰は南西諸島から沖縄にかけては特に顕著にみられる。

沖縄県宮古島野原のマストリヤーを見学した際に、地元の方から以下のような伝承を聞くことができた。宮古島には十五夜の日にススキを供える謂れがあるという。それは月の光に照らされても自分の頭の影がない。祈祷師の占いでは、今晚、その男の最も大切なものをススキの矢で射殺しなさい、という。男は愛馬を射殺すことにした。矢を放った瞬間に、馬は飛び跳ねてススキの矢はその奥にいた男を射殺した。一緒にいたのは自分の妻で、その男と共に謀して夫を殺そうと包丁を研いでいるところだった、という。宮古島では十五夜にススキを飾るのは魔除けのためだと信じられている。

ススキを「茅」の一種と置き換えた場合、今、コロナ禍で盛んにおこなわれているのが茅の輪神事である。そして、粽（zòng ツォン）を茅巻きと称して、疫病除けとしていることにも注意する必要がある。五月五日の女の家伝承においても、屋根を蓬と菖蒲を葺く習俗には、茅を屋根に突き立てたところもあった（五来重「五月五日は女の家」『宗教歳時史』2009 五来重著作集第 8 巻所収）。茅は先の宮古島の伝承にもあるように、悪魔除けの植物として認識されている。屋根に、茅や蓬、菖蒲などを挿す習俗と、屋根から入り込む妖怪とを関連させた山本陽子氏の研究は興味深い（山本陽子「説話と海外に見る屋根・天井・軒における怪異」『説話・伝承学』第 22 号 2014）。

玄関先ではなく、なぜ屋根に魔除けのための植物を取り付けるのかという発想は貴重である。また、ススキを用いるのは十五夜の行事だけとは限らない。長野県の諏訪信仰、特に、御射山（みさやま）祭りにおいては大量の茅が用いられ、穂屋が作られる。旧暦 7 月 26 日～28 日の祭礼で、各家では十五夜の飾り物のように、各戸でススキを飾る風習が残る。南九州の十五夜の綱引き、装束などの茅の利用も独特であり、茅の視点から十五夜行事を見直すことで、東アジア全体の茅

の習俗も広域に見直す必要もでてくるだろう。

手探り状態ではあったが、2回にわたる東アジア全域を見渡す十五夜行事の比較研究は、十五夜とススキ（茅）との関係を導き出す大きな手掛かりを与えてくれるに違いない。

最後に、宮崎市霧島にある「オモニの手作りまんま亭」の押川敬姫氏のご厚意により、秋夕の儀式を拝見させていただいた。旧暦8月15日の午前0時を過ぎた頃から、祭壇を設けご先祖様の写真を飾り、十五夜餅であるソンピョン（松餅）やチヂミなどの韓国料理を供える。茶礼と称して、お水をお椀いっぱいにも供える。韓国式の礼拝の方法で3回拝む。月は14夜であるが、このようにするのが慣わしだという。

写真 オモニの手作り まんま亭 秋夕の祭壇



### III 各報告原稿

#### 1. ベトナムの中秋節

潘艶賢（広西民族大学東盟学院）

ベトナムの北部・首都ハノイにおける中秋節の主な行事は、月を祭る、獅子舞、子どもの提灯遊行、ランタン祭り等があります。この日には大量の月餅・果物等を各家族で用意され、夜中月がま上に来るのを待つ。時間が来ると、子ども達は待ち望んだ「月の宴」を一斉に開くのである（図三 各自好きな果物や月餅を取ることが出来ます）。街中に子ども達の歓声で賑わいます。



ベトナムの月餅は、広東語圏（広東省・広西壮族自治区・海南島・ホンコン・マカオ・シンガポール等の地域をいう）の特有な味付けで、百種類くらいのアンがあります。ベトナムは特に焼き菓子風と米粉の生地風の二種類が人気があります（図6～8）。また子ども向けの「豚さんの形の焼菓子」もよく売れます（図9）。

その日は、必ず獅子舞を踊ります。ベトナムの獅子舞は次の三つの意味合いを持っています。一には雄々としたライオンの逞しさ、二には壮年の男子、三には父親のような大地、天地人の象徴とします。獅子舞の頭部分が簡単に外される事ができるので、道路の脇の露店で販売されています。子ども達が購入してもらって、頭にかぶって遊びます（図14～16）。

もう一つ当日欠かせないものはランタン祭りです。伝統的な造り図（図15）を参考しながら手作りをしています。そのうち鯉の形の提灯が最も人気高い。他にはろうそくの熱で廻る「走馬灯」も高値の物もあります（図20）。

近年、巨大なランタンも人気が出はじめ、公園や広場で飾っておくのが増えました（図25～27）。またベトナムの国旗に似ている五格の星の提灯もよく見かけます（図28）。

中秋節はベトナムのこどもの日にも当たります。昔中秋節の前後には稲刈り等忙しい農忙期に当たるため、親は我慢してくれた子ども達に慰めるように祭りの様々な遊びを工夫しました。現在は子ども達好きな遊びをさせています（図31～34）。

最後は、ひと昔中秋節に流行していた若者が恋人を求める歌垣の風習「唱軍歌」（図36）を現代風に再現したものです。

（翻訳 項青）

## 2. ベトナムの中秋節

佐野愛子（進和外語アカデミー非常勤講師）

東南アジアの国の一つであるベトナムは、その地理的な要因から中国とのつながりが深い。中国で行われる「中秋節」の行事であるが、ベトナムでも中秋節は行われている。本報告はベトナムの歴史上にみられる中秋行事やその起源を語る昔話、そして現在のベトナムでの中秋の過ごし方を紹介するものである。

はじめに歴史上に見られるベトナムの中秋節をみてゆく。ベトナムの正史である『大越史記全書』の1500年条には、中秋の日に黎憲宗が臣下とともに月をめでて詩を詠んだという記事がみえる。その後、18世紀以降になると范廷琥の『雨中随筆』や阮文錦の詩など、中秋の出来事を記した文献が散見されるようになる。ここから、ベトナムでは中秋の日に月を觀賞したり、詩を詠んだりする文化があったということがわかる。

次に中秋節の昔話をみてゆく。ベトナムでは中国と同じく中秋節に灯ろう行列を行う行事があるが、その由来譚には「月のクエイおじさん」という昔話が伝わっている。それによると、ベト

ナムでは月の影はダーの木（ベンガルボダイジュ）にクエイおじさんが座っている姿だとされる。そしてそのクエイおじさんを地上に呼び戻すために中秋節に灯ろう行列で道を作り、道しるべとするのだと言われる。

現在のベトナムでは都市部では危険なため上のような灯ろう行列は見られないが、地方では今でも灯ろう行列を見ることができる。なお、この灯ろうは、伝統的には紙で作られ、星や鯉、カエル、ウサギなどの形がある。カエルは良い天気を祈るため、星は天気予報をする農民の習慣から作られたなど、形によって意味がある。現在ではセロファンやプラスチック、空き缶など様々な素材で作られ、形もドラえもんやバービー人形など変化に富んでいる。

このように現在行われているベトナムの中秋節の行事は上に挙げた灯ろう行列の他に、月餅を食べたり獅子舞をしたりと中国の中秋節と似たところも多い。しかし、ベトナムでは中秋節は別名「こどもの日」とも呼ばれており、子どもたちにとって楽しい日でもある。報告では最後に筆者が2015年にホーチミン市に研究滞在したときの中秋節の様子を述べた。そこでは近所の子どもたちが集まり、お菓子を食べたりおもちゃで遊んだり、まさに「こどもの日」といった様子が見られた。

### 3. 秋夕とソンピョン（松餅）

李信恵（在日朝鮮人2・5世）

秋夕の朝には茶礼という、祖先の霊を迎える儀式をします。（漢字で茶と書きますが、お酒を注ぎます）在日朝鮮人の場合は、現在でもきちんと行う家庭もありますが、韓国と同様に簡素化されていたり、特に何も行わなかったりもします。韓国では秋夕の時期は連休で、民族大移動とも云われるほどの帰省ラッシュも起こります。休日とはいえ、お正月や法事の際もそうですが、女性たちはずっと料理などに追われます。そのように負担が多いことも話題になったりします。

秋夕に欠かせない料理の一つがソンピョン（松餅）です。あんを包んで半月の形にし、松の葉を敷いて蒸したお餅のことで、ソンピョンにはさまざまな言い伝えがあり、きれいに作れると「お嫁に行ってかわいい子どもを産める」という言い伝えもありますが、現代ではちょっと引っかけますね。家庭で作らなくても、大阪では鶴橋駅近くの市場やコリアタウンへ行けば売っていますので、私もつい鶴橋で購入してしまいます。

また、大阪をはじめ在日が多く暮らす集住地域では、朝鮮半島にルーツを持つ子どもたちが文化や歴史などを学ぶ「民族学級」という課外授業・クラブが公立の小中学校などに設置されていることもあります。そこでこの時期にソンピョンを作ったりすることもある。

お祝いごとや法事に欠かせない韓国のお餅にはそれぞれに意味があり、真っ白なペクソルギは長寿を、アズキを使ったパッシルトクは健康を、インジョルミは子供が健康に育つようにとの願いが込められています。

伝統を今も継承し、繋げていくことは素晴らしいことだと思います。それが海を越えた日本の地であっても。けれど伝統の中には、男尊女卑であったり、今の時代と違和感のあることも多いです。今を生きる私たちは、そんな部分を改善しながら、うまく次の世代に伝えていけたらと考えています。

最後に、「더도 말고 덜도 말고 한가위만 같아라（余るでも掛けるでもなく満月＝旧盆のようであれ）」、秋夕でのあいさつの言葉です。また皆さんと来年お会いするときには、この言葉を交わせたらと思います。

写真 大阪市鶴橋 秋夕の供え物







#### 4. 宮崎公立大学民俗学演習報告

##### （1）日本班

加藤竜矢・野田真衣佳・三原美咲

私たちは沖縄県、鹿児島県、栃木県の3つに絞り、日本の十五夜について調べた。まず沖縄県の十五夜行事について紹介する。ヒヌカン（かまどの火の神様）とお仏壇にお供物をして手を合わせ、そのお供物は白く丸いお団子ではなく、「フチャギ」と呼ばれる塩味の小豆をまぶしたお餅である。また、「フチャギ」の小豆は潰さず、そのままの形でまぶしてお餅にくっつける。小豆が魔除けの役割を担い、その年の災難を避けると言われている。南部では、豊作祈願であるウマチーやカシチーと合わせ、綱引きが行われる地域も多くある。私は鹿児島県出身で幼い頃、十五夜の日には地域の集まりで綱引きをしたり、相撲をしたりして楽しんだ。そのような文化が日本中にあるわけではなく、都道府県や地域によって、十五夜の過ごし方、食べるものが違うことを知れて、勉強になった。

次に鹿児島県の十五夜について紹介する。鹿児島県は、月を見ながら十五夜団子などのお供物を食べ、地域によって子供たちが綱引きや相撲などの行事を行う。また、薩摩半島の知覧町では、十五夜ソラヨイと呼ばれる子供達が藁の蓑笠を着け「ソラヨイ、ソラヨイ」と歌いながら四股を踏む踊りを踊る。これは、月と大地に感謝し、豊作を願う行事である。さらに、お月見泥棒と呼ばれる十五夜の日に関してお供物を子供達が盗んでも良いという風習がある。これは、子供たちに

お団子を盗まれることは縁起が良く、農作物が豊作になると言われているためである。盗んだお団子を食べた子供は長者になるとも言われている。お供物はおもに、山型に積まれた月見団子、すすき、柿や梨などの季節の果物。そして、さつまいもや里芋などの芋類が芋名月として供えられる。十五夜は農作物との関係が深く月を見るだけでなく大地に感謝し、豊作を願う意味が込められていることを今回初めて知ることができた。また、地域によって様々な行事や風習があり、これらを通して地元や地域について改めて知ることができると思った。

最後に栃木県の十五夜について紹介する。栃木県の十五夜は南九州のそれとは大きく異なった。まず十五夜に関する行事ごとが圧倒的に少ない。南九州では月見のほかに相撲や綱引き、団子盗みなどが行われるそうだが、栃木県ではそのようなことは無く、団子等のお供え物を食べながら月を見るのみだ。また十五夜の考え方も異なっており、南九州のような先祖供養の意味合いは無く、あくまでも五穀豊穡を祈る行事という考えだ。研究をする中でお供え物に栃木県独自のものを発見した。それがけんちん汁とさんまだ。その他にも十三夜の風習が残っているなど南九州と地元の間での文化的違いを多く感じた。日本だけでなく東アジア全体の人々が同じ月を見上げるこのロマンあふれる行事を私たちは歴史の一員として後世につなげていかななくてはならないと、この研究を通して強く感じた。

## (2) 中国班

小倉香鈴・長田海翔

まず、中秋節について説明する。「八月節」とも呼ばれる中秋節には、800年以上の歴史がある。中国では法定祝日であり、食事で家族団欒して、月餅を食べながら月見をする。中秋節の過ごし方は地域によって違いがある。由来としては、商時代(1600～1046b.c.)の月を祀る風俗から始まった。伝統的な祭りとなされたのは唐時代(618～907)で、中秋節が盛んになるのは宋時代からである。昔から月を祀り、円卓を囲みながら食事をすることは幸福を運んでくると信じられてきた。

次に中秋節の過ごし方について説明する。中秋節は日本の十五夜の過ごし方とは少し異なる部分が多くある。ここでは、中国の中秋節について簡単に述べたい。

中秋節は春節に続いて中国で2番目に代表的な祝日である。つまり、中国人にとって重要な日の一つである。中国の長い歴史の中で、中秋節の日是一家団欒で過ごすのが伝統的である。そのため、中秋節になると人々は一斉に各地から家族のもとに帰り、家族と一緒に食事をする習慣が今でも残っている。

初めに紹介するのが日本でも見られる「お月見」である。月見は、月を祭る行事から始まった風習とされている。

2つ目に「お供え」をすることである。中国では月餅や果物などをお供えする習慣がある。特に月餅とスイカは特に大切にされており、スイカは蓮の花の形に切る習慣がみられている。

3つ目に「月餅を食べる」という習慣がある。月餅は中秋節には欠かせない食べ物である。昔から、

月餅は形が円形で、団円を象徴し、一家団欒という人々の願いを表している。中国では月餅を送りあう文化も存在する。

他にも兎兎爺（トゥルイエ）を飾ったり、提灯を觀賞したりする文化もある。

中国大陆のほかには台湾では、これまで紹介した文化のほかにも中秋節にバーベキューする文化や文旦を子供にかぶせる習慣が存在している。この文旦を使った習慣は、中国語の「柚子」と「佑子（子どもを守る）」の発音が似ているからと言われている。

次に映像で中秋節の過ごし方を見ていきたい。

次に、中秋節にまつわる食べ物について説明する。ここでは代表的なものとして、月餅・かぼちゃ・タニシ・サツマイモ・ザボン・アヒル料理を挙げている。最も人気で重要な食品である月餅は、丸い形で、薄い皮に具材と餡を入れ焼き上げたものだ。丸い形は満月を表し、家族団欒を象徴している。ケーキ屋やパン屋で買えるが、手作りする人もいようだ。蓮の実を練ったもの、甘い味噌と卵黄が伝統的な詰め物であるが、アイスクリームやチョコレートを詰めた現代的な月餅もある。かぼちゃは、江南の広い地域で「南瓜のもち米ご飯」を食べる風習がある。卵を産んでいないタニシは肉がよく肥えていて、中秋節前後に食べごろを迎える。食用の佳品で薬用価値もあり、炒め物やスープで食べられる。サツマイモは、秋の収穫を先祖や氏神に感謝するときの供え物である。サツマイモの丸煮を盛った皿や、芋を入れて煮たビーフンが入ったどんぶりを供物台に捧げる。現在では儀式は行わず、サツマイモを食べる風習が残っている。ザボンは、中国語でザボンの名である「柚子（日本のゆずとは違う）」の発音が、子どもを守るという意味の「佑子」に似ているため、お月様が守ってくれるように祈るという気持ちが含まれた縁起担ぎになっている。アヒル料理は、アヒルの中に栗、銀杏、角切りの鶏の胃袋、ハム、もち米、貝柱、タケノコなどを詰めて蒸す八宝鴨や、アヒルを塩の湯で煮た塩水鴨、アヒルの醤油煮である醬鴨などがある。

最後に、現代の中秋節の習慣について紹介したい。先ほど紹介したように中国の方は、家族で集まり、月餅を食べ、お月見をする。しかし、今日中国ではこの中秋節に旅行に行くという習慣が生まれている。今年は、新型コロナウイルスの影響で旅行を控える傾向があったが、例年であれば多くの中国の方は国内のみならず、海外旅行に出かけることが多くなっているとのことである。このように時代に応じて中秋節の過ごし方が多様化していることがわかった。以上で中国班の発表を終わりたい。ご清聴ありがとうございました。

### （3）韓国班

岩見瑠子・濱田真由・櫻田真由美

民俗学ゼミ3年生2名と現在韓国へ留学中の4年生1名で研究した韓国の十五夜についてレポー

トしていく。

韓国の十五夜はチュソクやハンガウィと呼ばれ、漢字で書くと秋夕となる。チュソクは、月明かりが綺麗な夜という意味があり、ご先祖様に1年間の豊作を感謝し、収穫を祝う日である。

まず、チュソク当日までの流れとチュソク当日、茶礼について紹介していく。チュソク当日までの流れとして、一ヶ月前からボルチョ（伐草）といい、墓の草抜きや清掃を行う。草むしりなど掃除をしないと子孫の証がなくなると言われるほどボルチョは大事な作業である。そして、2～3週間前では、日本のお中元と同じ感覚で親戚や取引先への贈り物を購入する。この時期になると、スーパーやショッピングモールでスパムの詰め合わせや、果物の詰め合わせ、調味料セット、韓牛、洗剤セットなどの贈り物セットの売り場が登場する。連休直前には、民族大移動と呼ばれる帰省ラッシュが起こり、また、茶礼で使用する食材の調達を行う。チュソク当日は、先祖の霊を迎えるためのチャレ（茶礼）と呼ばれる祭礼を行う。チャレが終わったら家族みんなでお供え物を食べ、お墓参りを行う。そして、夜にはお月見をする。チャレには茶礼床という先祖に供える料理や祭需を並べたお膳があり、茶礼床の全体の配置や決まりとして、まず、祭礼の主催者が先祖の霊を見たときに左側が西、右側が東になるように配置する。そして、奥側中央に位牌にあたるチバンを置き、料理を並べる。最後に、お膳の奥に屏風、手前には酒や線香を用意する。また、先祖は刺激物を好まないため、料理は全体的に淡泊でシンプルな味付けにする。

次に、韓国のお供え物について紹介していく。先祖の霊から最も近い1列目には、匙やお箸、ご飯、汁物、ソンプジョンを並べる。ソンプジョンはチュソクの時期になると出てくる韓国の伝統的な食べ物である。2列目には鶏肉、肉炙、肉のジョン、コチジョン、豆腐ジョン、緑豆ジョン、魚のジョン、魚炙を並べる。ここで、魚東肉西（オドンユッソ）といい、魚は東側、肉は西側に置くルールがある。また、頭東尾西（トゥドンミソ）といい、頭は東側、尾は西側に置くルールもある。3列目は、肉入りの汁物の肉湯（ユッタ）、豆腐や野菜の汁物の素湯（ソタン）、干した魚の汁物の魚湯（オタン）を並べる。4列目にはファンテポ、トラジのナムル、シラヤマギクのナムル、ワラビのナムル、ナバッキムチ、シッケを並べる。ここでは、左脯右醃（チャポウヘ）といい、左端に魚の干したもの、右端にシッケを並べる決まりがある。そして、真ん中にナムルとナバッキムチを置く。5列目にはナツメ、栗、梨、柿、薬菓、サンジャを並べる。ここでは、棗栗梨柿（チョユルイシ）といい西からナツメ、栗、梨、柿を並べる決まりがある。また、紅東白西（ホンドンベッソ）といい、赤い果実を東に、白いものを西に置く決まりもある。韓国では、果実の上の部分を取り取ってお供えするが、その理由として先祖様が食べやすいように切り取っているとされている。

最後に、民俗芸能のカンガンスルレとシルム、風習のパンボギについて紹介していく。まず、カンガンスルレは、韓服を着た女性たちが手に手をとって丸い円となり、回りながら歌をうたい踊る。伴奏には伝統的な農学器が使用され、歌う人によって曲調の速さが変わる。そして、カンガンスルレは、2009年にユネスコ無形文化遺産に登録された。次に、シルムは、朝鮮半島に古くから伝わる伝統競技で、お互いにサッパ（まわし）を取り組み合った状態から投げ技を打ち合い

## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

勝敗を決める。現在はプロ化され、全国1のシルム王を決める大会が行われている。最後に、風習のパンボギは、会いたい人同士が日時と場所を決めて会う風習である。昔は、嫁入りした女性が実家の家族と簡単に会うことが出来なかったため、中間地点で会わなければならなかったとされている。

現代のチュソクは、コロナの影響や高齢化問題のため、以前のように集まらない家庭が増えている。また、多くの企業でチュソクにちなんだ期間限定商品を販売するなど、新しいチュソクの形が見られる。研究を通して、日本の十五夜とは違うところがたくさんあることを知り、また、インターネットだけでは調べきれないことは韓国へ留学中の4年生が現地の方へ聞いてくださり、現在のチュソクの状況を研究することができた。

協力者 項青（熊本県立大学）・頼雲荘（台湾 東呉大学）・金敬叔（熊本大学）・  
堀尾里美（人吉旅館）・押川敬姫（オモニのまんま亭）  
金俊漢（韓国安東市君子村）



写真資料

1. 潘艶賢 ベトナムの中秋節
2. 十五夜 日本班
3. 十五夜 中国班
4. 十五夜 韓国班

1. 潘艶賢 ベトナムの中秋節

図 1



図 2

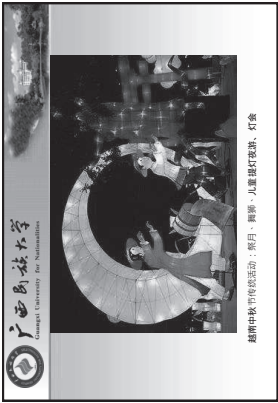


図 3



図 4



図 5



図 6

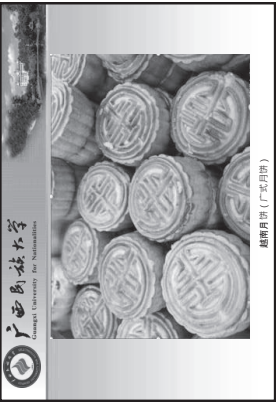


図7

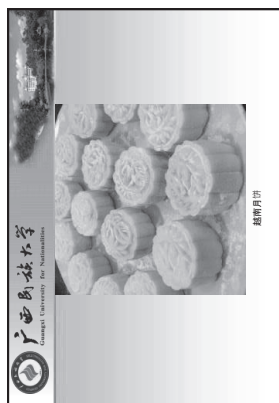


図8

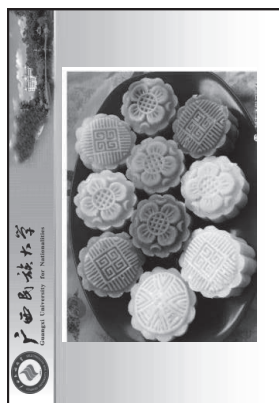


図9



図10



図11



図12



第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

図 13



図 14



図 15

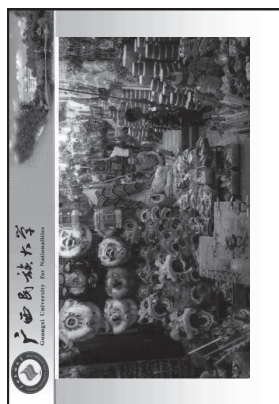


図 16



図 17

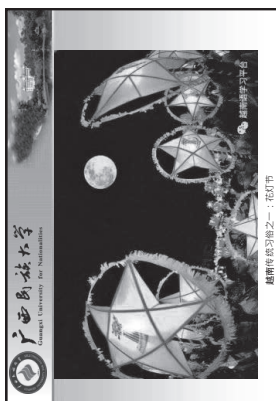


図 18

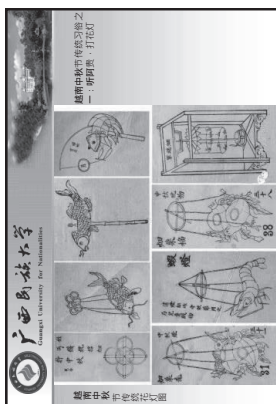


図 19



鲤鱼花灯

図 20



鹿马灯

図 21

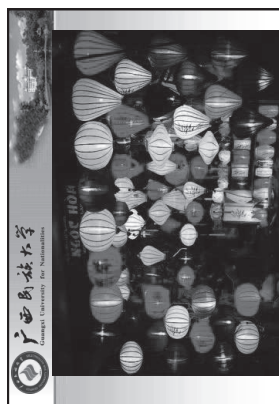
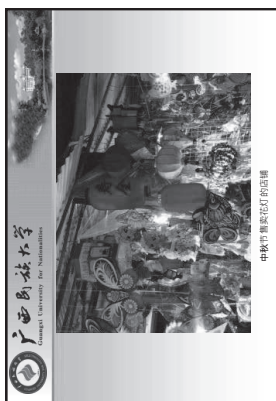


図 22



中秋节花灯灯

図 23



中秋节 舞龙灯灯的店铺

図 24



端午节期间在景区内展出端午节礼品店的店铺





図 31



図 32



図 33



図 34

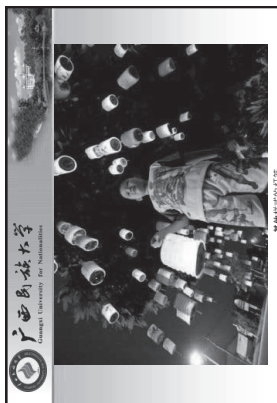


図 35



図 36



第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

図 37



2. 十五夜 日本班

## 日本の十五夜

加藤竜矢 野田真衣佳 三原美咲

### 沖縄県の位置



- ・沖縄県は日本最南端の県であり、九州と台湾の間に位置する。
- ・もともと「琉球」という一つの国で、沖縄県のシンボルである首里城は世界文化遺産に登録されている。

## 沖縄県の十五夜

### 沖縄県の十五夜行事

- ・ **ヒヌカン**（かまどの火の神様）とお仏壇にお供え物をして手を合わせます。そのお供え物は白いまんまるのお団子ではなく、「フチャギ」と呼ばれる塩味の小豆をまぶしたお餅。
- ・ 南部では、豊作祈願であるウマチーやカシチーと合わせ、綱引きが行われる地域も多い。

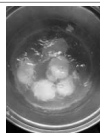
### フチャギ

- ・ 材料（基本的な）  
団子粉 水 小豆水煮 塩



- ・ フチャギの小豆が魔除け  
その小豆はつぶさず、そのままの形でまぶして餅にくっつけた状態  
→その年の災難を避ける

### フチャギを作ってみた



平たい餅に  
します！



## 鹿児島県の十五夜

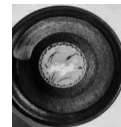
### 鹿児島県の位置



- ・鹿児島県は、九州最南端の県であり、最南端の与論島まで南北600kmに広がっている。
- ・600を超える島々をもつ日本有数の島の県であり、屋久島は世界自然遺産に登録されている。
- ・畜産や漁業が盛んで、黒豚やかつお節が特に有名である。

### 鹿児島県の十五夜行事

- ・月を見ながら十五夜団子などのお供え物を食べ、綱引きや相撲などの行事も行われている。
- ・豊作を願う。(十五夜ソラヨイ)
- ・またお月見泥棒の風習もある。



### 鹿児島県の十五夜のお供え物

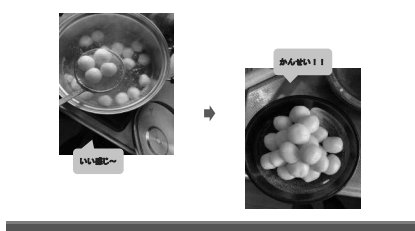
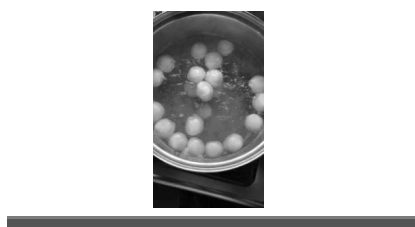
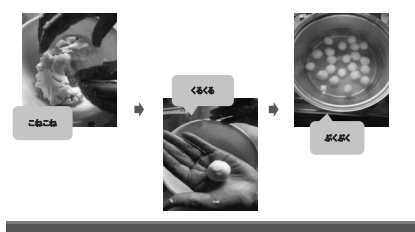


- ・月見団子 山型に積む
- ・すすき
- ・柿や梨などの季節の果物
- ・サツマイモや里芋などのイモ類  
→芋名月

### 鹿児島のお供え物を作ってみた







## 栃木県の十五夜

### 栃木県の位置



- ・ 栃木県は日本列島のほぼ真ん中に位置し、首都東京からは新幹線で約1時間。
- ・ 首都圏と東北地方の間に位置し、その2つを結ぶ重要な地でもある。
- ・ 県内には日光東照宮があるなど文化的にも重要な地である。

## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

### 栃木県の十五夜行事

- 基本的には月を見ながら十五夜団子などのお供え物を食べるのみで、宮崎・鹿児島といった南九州の十五夜で見られる綱引きや相撲などといった行事は行われていない。
- また先祖供養の意味合いは全くなく、五穀豊穡を祝う。
- ほかの家を訪れるという風習もなし。



### 南九州では見られない十三夜

- 旧暦9月13日(2021年は10月18日)にも、十五夜同様にお供え物をし、五穀豊穡の祈りや収穫を祝う風習が東日本を中心に存在する。
- 十五夜の「芋名月」に対して十三夜は「栗名月」や「豆名月」と呼ばれている。
- どちらか一方の月のみを見ることを「片見月」といい、縁起の良いこととされていた。そのため、昔は十五夜と十三夜には同じ夜で月を見るという風習があった。

### 栃木県の十五夜のお供え物

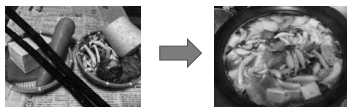


- 月見団子 山型に15個
- すすき 本数の決まりなし
- 柿や梨などの季節の果物
- けんちん汁
- さんま

### けんちん汁

- 材料(基本的な)  
大根 にんじん ごぼう 里芋 キノコ類 こんにゃく 豆腐 など
- 由来  
神奈川県鎌倉市の臨濟宗の建長寺で作られていた。「建長寺の汁」がなまり、けんちん汁になったという説が有力とされている。
- 十五夜にけんちん汁を食べる風習は現在、栃木県と群馬県の一部の地域のみで見られる独特な風習である。

### けんちん汁を作ってみた



### けんちん汁を作ってみた2



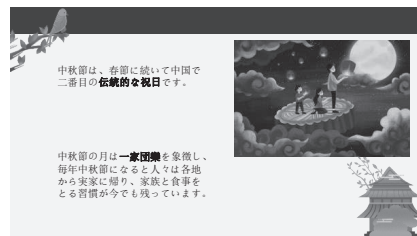
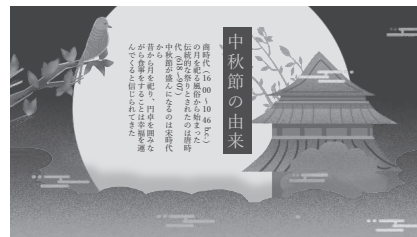
## 参考文献

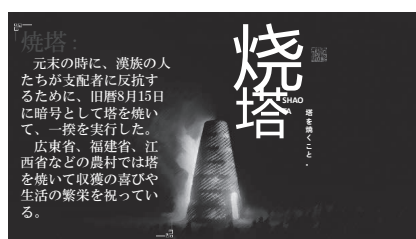
- 鹿児島県ってどんな所？南國 鹿児島に迫る！～自然編～ | MATCHA- 旅日外国人観光客向けWebマガジン (matcha.jp.com) (2021/9/13)
- 沖縄の位置／沖縄県 (pref.okinawa.jp) (2021/9/13)
- 世界遺産としての首里城 | 首里城について | 首里城・琉球王宮の史跡を物語る 世界遺産 首里城 (oli.park.jp) (2021/9/13)
- 沖縄の十五夜と言えばフチャギを本州と違う5つの風習 | おきなわごころ、かみさまとの邂逅し方 (okinawaspots.com) (2021/9/13)
- H1-002 (hoshigaki.jp) (2021/9/13)
- けんちゃんけと護国寺 (yoriomo-japan.com) (2021/9/13)

ご清聴  
ありがとうございました。

## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

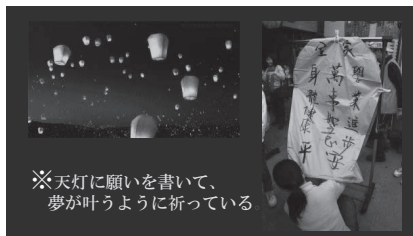
### 3. 十五夜 中国班







## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）




台湾の中秋節の過ごし方

柚子をかぶる??

⇒実はこれは「文旦」

文旦をむいた皮を子供の健康を願って頭にかかせます。



食べ物

目録  
かぼちゃ  
サツマインゲン  
アヒンメ  
料理

## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム (永松敦)

中秋節にまつわる食べ物

サツマイモ

秋の収穫を先祖や氏神に感謝するときの供え物  
 ツツマイモの丸煮を盛った皿や、芋を入れて煮たビーフンが入ったどんぶりを供物台に捧げる  
 現在では儀式は行わず、ツツマイモを食べる風習が残っている



中秋節にまつわる食べ物

## ザボン

中国語でザボンの名である「柚子（日本のゆずとは違う）」の発音は、子どもを守るという意味の「佑子」に似ている  
お月様が守ってくれるように祈るという気持ちが含まれた縁起担ぎになっている



## アヒル料理

八宝鶴  
アヒルの中に栗、銀杏、角切りの鶏の胃袋、ハム、もち米、貝柱、タケノコなどを詰めて蒸す  
塩水鶴  
アヒルを塩の湯で煮たもの  
醬鴨  
アヒルの醤油煮



## 現代の中秋節

〈訳〉  
昔の人はこの特別な日に、灯笼を作って、灯笼  
を作って、灯笼を作って、火を焚いて、月を  
祭って、灯笼を焚いて、月を見て、潮見をして、  
なぞなぞをして、月餅を食べて、桂花酒を飲む  
などの様々な一環があります。

古人在这个特殊的日子，他们一般会扎灯笼，玩花灯，烧斗香，舞火龙，祭月，燃灯，赏月，观潮，猜谜，吃月饼以及饮桂花酒等多种环节。



### 参考文献

<https://kogetsu-an.shop/culture/2552/>  
<https://baijiahao.baidu.com/s?id=167808624481177437&wfr=spider&for=pc>  
<https://www.arachina.com/festivals/mid-autumn-festival/food.htm>  
<https://honichi.com/news/2019/08/14/chinesegeppai/>  
<https://netwadai.com/blog/post-6124>



## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

### 4. 十五夜 韓国班



1

#### 目次

- ①チュソクについて、当日まで・当日の流れ
- ②チャレ
- ③お供え物
- ④Q&A
- ⑤民俗芸能・風習
- ⑥現代のチュソク



2

#### チュソク( 추석 )とは

- ▶ 月明かりが綺麗な夜という意味があり、祖先追慕に1年間の豊作を感謝し、収穫を祝う日
- ▶ 漢字では秋夕
- ▶ 大きい月と秋の真ん中という意味から亨7号(ハンガフ・ともよばれる
- 旧暦8月15日とその前後1日ずつが祝日となり、「民族大移動」と呼ばれる帰省ラッシュが起こる

3

#### チュソク当日までの流れ

- ▶ 1ヶ月前 伐草(ボルチョ) 墓の草抜き・清掃
- 車むしりなど掃除をしないと子孫の足がなくなると言われるほど大事！
- 伐草のために重傷りする人々の車で渋滞することもある...



4

#### チュソク当日までの流れ

- ▶ 2〜3週間前 餅戚や取引先への贈り物購入
- 韓国ではチュソクの時期になると、日本のお中元と同じ感覚で贈り物をする。
- この時期になると、スーパーやショッピングモールで贈り物セットの売り場が登場！
- ＜贈り物セット内容＞
  - ・スナムの詰め合わせ
  - ・餅戚の詰め合わせ
  - ・餅戚セット
  - ・餅
  - ・漬物セット、などなど



5

#### チュソク当日までの流れ

- ▶ 連休直前 帰省ラッシュ・買い出し
- ・帰省ラッシュ
- ソウル駅や高速バスターミナルは帰省する人でたくさんに
- 民族大移動
- ・買い出し
- 茶礼で使用する食材の調達(女性陣)
- 名品後遺症: 名品に身体を酷使し、その反動で無気力になったり身体の節々が痛くなる



6

## チュソク当日の流れ

- ▶ 朝 宗礼(チャレ):先祖の霊を迎え入れるための祭礼  
 ○女性がお供え物を準備し、男性が拝礼などの儀式を行うのが基本！  
 →チャレが終わったら家族・親戚みんなでのお供え物を食べる  
 →お墓参り

- ▶ 夜 お月見  
 満月を見ながらお願い事をする



7

## チャレの仕方

1. 宗尊(宗尊):お線香を焚いて祖先を呼び、祭主がお拝禮を2回する
2. 宗子(宗子):真ん中に置いてある砂にお酒を3回に分けて注ぐ(地震の神にチャレを行うことを知らせる)
3. 宗子(宗子):全員がお拝禮を2回する
4. 宗子(宗子):お酒をお供えし、祭主はお拝禮を2回する
5. 宗子(宗子):お酒を金色のお皿に3回注いでお皿の上にきれいに並べる
6. 宗子(宗子):最後に全員でお拝禮を2回する



8

## 茶礼床

茶礼床:先祖に供える料理・祭需を並べたお膳

- ▶ 全体の配置・決まり

祭礼の主催者が先祖の霊を見たときに左側が西、右側が東になるように配置  
 奥側中央に位牌にあるチヤパンを置き、料理を並べる  
 お膳の奥に屏風、手前には箸や線香を用意する



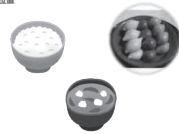
- 先祖は刺身物を好まない！！  
 →料理は全体的に淡泊でシンプルな味付け

9

## お供え物

- ▶ 1列目 先祖の霊から最も近い位置

- ・塩や香
- ・ご飯
- ・汁物
- ・ソシビシ

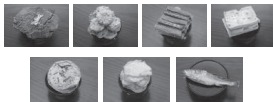


10

## お供え物

- ▶ 2列目 「魚煮肉類」「鶏煮肉類」

- ・鶏肉
- ・肉炙
- ・肉のジヨン
- ・コチジョン
- ・豆腐ジヨン
- ・緑豆ジヨン
- ・魚のジヨン
- ・魚炙



11

## お供え物

- ▶ 3列目

- ・肉煮(ユツタン):肉入りの汁物
- ・魚煮(ソタン):豆腐や野菜の汁物
- ・魚煮(オタン):干した魚の汁物



12

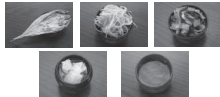


## 第2回 日中韓十五夜シンポジウム（永松敦）

### お供え物

▶ 4列目 左膳右膳（チャボウヘ）：左膳に魚の干したものを、右膳にシッケ（米のジュース）を並べ、真ん中にはナムルとナパソキムチ（薄切り大根を使った汁の多いキムチ）を置く

・ファンテボ（干したタラ）  
・トラジのナムル  
・シラヤマギククのナムル  
・アラヒのナムル  
・ナパソキムチ  
・シッケ

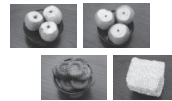


13

### お供え物

▶ 5列目 萬葉祭板（チュユルイン）：香からナツメ、栗、梨、柿を並べる決まり

・ナツメ  
・栗  
・梨  
・柿  
・りんご  
・萬葉  
・サンジャ：もち米を煮て揚げたお菓子



14

### Q&A

Q. なぜ果物の上の部分だけ切り取っているの？



15

### Q&A

Q. なぜ果物の上の部分だけ切り取っているの？

A. 先祖様が食べやすいように！



16

### 民俗芸能

#### カンガンスルレ

韓国を離れた女性たちが手に手を取って丸い円となり、周りながら歌を歌い踊る。伴奏には伝統的な農楽節が使用され、歌う人によって曲調の速さが変わる。

2009年ユネスコ無形文化遺産に登録される



17

### 民俗芸能

#### シルム

朝鮮半島に古くから伝わる伝統競技で、お互いにサツバくまわしをとり組み合った状態から投げ技を打ち合い勝敗を決める。

現在はプロ化され、全国一のシルム王を決める大会が行われている。

勝者には社士の称号と冠戴りの本鎧や米、黄牛などの賞品が与えられた…



18

## 風習

### バンボギ

会いたい人同士が日時と場所を決めて会う風習  
昔は嫁入りした女性が実家の家族と簡単に会うことができなかったため、  
中間地点で会わなければならなかったそう…



19

## 現代のチュソク

最近では、コロナの影響や高齢化問題のため、  
以前のように集まらない家庭が増えている。  
多くの企業で  
チュソクにちなんだ期間限定商品を販売するなど、  
新しいチュソクの形が見られる。

例)サードワンアイスクリーム  
・お餅のフレーバー  
・ノンビンの形を模った餅アイス



20

チュソクになると韓国の方がよく口にする言葉…



“더도 말고 덜도 말고 한가위만 같아라”

・多からず少なからずいつもチュソクの目のごとくあれ

意味：暑くも寒くもなく、衣食も豊かで家族や親せきが集まって楽しく過ごす  
チュソクのようにいつも過ごせたいいなという願いを込めた言葉。

21

## 参考文献

- ・韓国文化院 Korean Cultural Center (koreanculture.jp)
- ・〈韓国料理〉情報「韓国スゴ〜ブ情報ならハナビツア〜」(hanabits.com)
- ・韓国の秋々(チュソク) | 名画(旧正月・秋夕) | 韓国文化と生活 | 韓国旅行「コネスト」(konest.com)
- ・寒札(チャル) | 名画(旧正月・秋夕) | 韓国文化と生活 | 韓国旅行「コネスト」(konest.com)
- ・秋夕 / チュソク (ハングワ) | ソウルナビ (seoulnavi.com)

22



ご清聴ありがとうございました!!

들어주셔서 감사합니다!  
즐거운 한가위 되세요!!

23